2022年度大学院前期入試(2021年9月)のオンラインでの実施について

新型コロナウイルス感染症の流行に対応し、北海道大学大学院文学院修士課程および博士後期課程の入試(前期試験)は、対面方式ではなくオンライン方式(自宅などでの受験)で実施することになりました。

これに伴い、文学院スラブ・ユーラシア学研究室の入試については、以下の変更があります。

修士課程入試(9月 4日):
1 専門試験は実施しない。一般入試では、文学院全体の共通外国語試験も実施しない。
2 オンラインにより面接試験と、「口述試験その他」の枠で通常行っているものと同様の外国語筆記試験を実施する。外国語筆記試験では、通常通り辞書持ち込み可である。
3 出願書類として卒業論文を提出しない者は、研究計画書に参考文献などを掲載し、自身の研究したいことについてより詳細な説明を行うこと。
4 出願者多数の場合は、出願書類の審査による第 1 次選考により、オンライン試験を受験できる者を絞り込むことがあり得る。
5 オンライン試験を受験する際は、パソコン(外国語筆記試験と口述試験に使うため)およびスマートフォン(外国語筆記試験の試験監督用に手元を写し出すため、また緊急連絡のため)を用意すること。機器やオンライン接続の確認などのため、試験の1週間前までにこちらから連絡する。

博士後期課程入試(9月 7 日):
1 オンラインにより面接試験と、「口述試験その他」の枠で通常行っているものと同様の外国語筆記試験を実施する（ただし試験時間については、オンラインでは120分でなく75分とする）。外国語筆記試験では、通常通り辞書持ち込み可である。
2 オンライン試験を受験する際は、パソコン(外国語筆記試験と口述試験に使うため)およびスマートフォン(外国語筆記試験の試験監督用に手元を写し出すため、また緊急連絡のため)を用意すること。機器やオンライン接続の確認などのため、試験の1週間前までにこちらから連絡する。

そのほか文学院全体での入試実施要領について、下記リンク先を参照し、概要説明動画も必ず視聴してください。出願書類と一緒に確認書を提出し、またインターネットで申し込みフォームに記入して送信する必要があります。
https://www.let.hokudai.ac.jp/news/17629

スラブ・ユーラシア学研究室の入試について不明の点があれば、研究室主任(仙石学教授)までお問い合わせください。
m-sengoku[at]slav.hokudai.ac.jp([at]は@に変換して送信)